

## アイコイル超発電+2

渡辺 満（静岡県）

### ●注意

すでに述べたように、強力なパルス電流を、  
コイルに入力すると、電流の流れる方向に、アイ起電力が発生する。  
ここで、注意点として・・・、  
コイルの巻き線に、例えば、皮膜の薄いポリウレタン線などを使うと、  
このアイ起電力によって、巻き線間に放電が起きてしまい（絶縁破壊）、  
コイルが短絡する場合がある。

普通では、なかなか、この短絡に気がつかないが、  
僕は、幸い、あるコイルの実験中に、  
外から巻き線間に、火花放電の走るのが見えた、からである。

コイル 0(0c)と、アイコイルに、この注意が必要である。

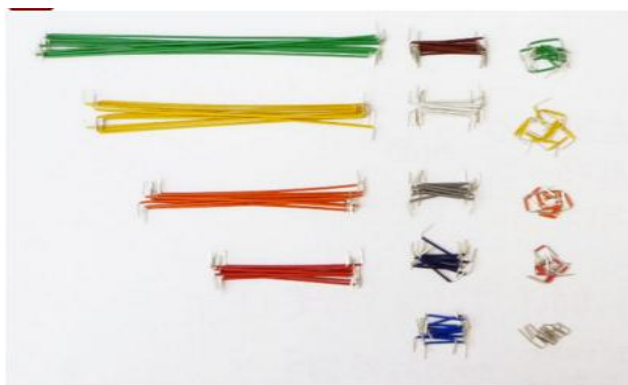
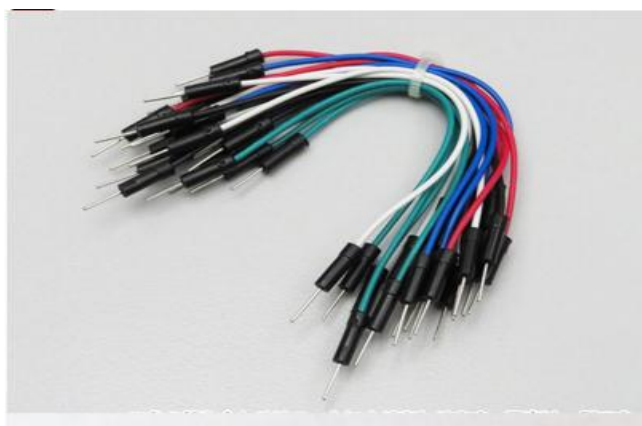
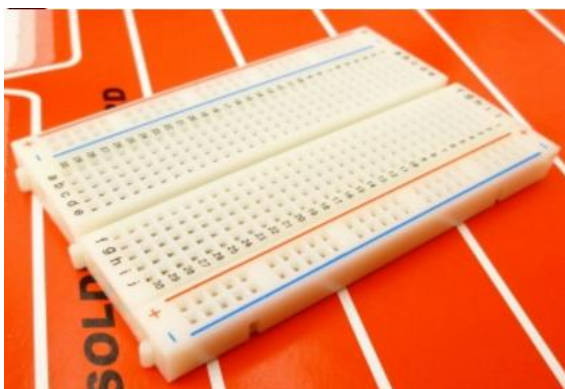
「アイコイル発生気」の開発中には、これが普通に起きた。  
そこで、巻き線を皮膜の厚い線に替えてみた。  
すると、今度は一方で、巻き線の束が大きくなって、  
E1-60 コアでは、間に合わなり、そこで仕方がないので、  
E1-60 コアを 2 階建てにした。

装置の電源電圧を上げる場合には、この対策が絶対に必要になる。  
この短絡は、逆に、アイ起電力存在の強い証拠となるだろう。

### ●ブレッドボードが便利

とりあえず、6V モデルを簡単に作るには、秋月電子などで出している、  
ブレッドボードなどを使うのが、便利だ。

- ・ブレッドボード
- ・ブレッドボード・ジャンパーワイヤ(オスーオス)セット
- ・ブレッドボード・ジャンパーワイヤ



部品は、次の店からも購入している。  
… 千石電商、共立エレショップ、

---

2019年11月発行

著者:渡辺 満, 発行者:渡辺 満

Copyright 渡辺 満 2019年